

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより


No.80
令和7年
2月発行

12月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
「ウクレレ・マハロ」
のみなさん

特集 『ウクレレ・マハロ』	2
議長あいさつ	4
上野原高校生の傍聴	4
議決結果等一覧表	5
定例会で決まった主なこと	6
会期中の審査	8
閉会中の委員会の活動	9
一般質問	10
市民の声	16



うえのはらで頑張る人 Vol.33 『ウクレレ・マハロ』のみなさん



集まりだしてから、約4年。
練習もイベント出演も自由に楽しく笑顔で、そんな活動を続けている「ウクレレ・マハロ」のみなさんにお話を伺いました。

合言葉は
マハロ！

始めたきっかけは

ウクレレができたらいいなあと思い、ユーチューブを見ながら練習を始め、近所のお店の前の広場で何人かで始めたところ、友達や友達をよび、職場の仲間、趣味の仲間、マハロのイベント出演をUBCの放送で見て始めたいと思った人などが集まり、今では、女性8人、男性4人、12人のグループになりました。

グループ名もみんな考えて、ハワイ語で「ありがとう」という意味の「マハロ」にしました。

ウクレレの楽しさは

なるべく簡単なコードで、自分たちが楽しむことをモットーに練習やイベント出演をしています。

アロハシャツやお揃いのTシャツを着て、福祉施設や幼児施設などへい



ベントの依頼を受けて出演しますが、拍手や笑顔をいただける、とても嬉しいですね。わずかですが、追っかけのファンもいるんですよ（笑）。

派生ユニットも

メンバーが増えてくると、自然に派生ユニットが誕生しました。

ひとつは、比較的若い？メンバーで構成する「フルーツ・マハロ」。

フルーツの被り物で、楽しく演奏したり、歌ったり、踊ったり、イベントではお年寄りや子どもがとても喜んでくれて、メンバー自身も楽しんでいきます。

もう一つが「ダンディ・マハロ」。もともとギターをやっていた3人にボーカルが加わり、男4人で楽しくやっています。



練習などは

週1回、メンバーの実家の空スペースを使い、また、月2回、もみじホールも使わせていただき、それぞれ2時間ほど練習しています。

将来は、大きな大会にも出場してみたいなんて話しながら、楽しみながら練習にも熱が入っています。

メンバーは、ほとんど仕事をしていますので、イベントへの依頼出演は多くても月1〜2回程度に抑え、それぞれ都合のつくメンバーで出演しています。

初心者向け教室を開催

ウクレレの楽しさを知ってもらおうと、もみじホールで月に数回、初心者向けの体験教室も開催しています。

高齢男性も参加してくれていますが、初心者用のウクレレも用意してお待ちしていますので、気軽に参加してみませんか。



活動を通して思うこと

演奏したり、歌ったりしていると、自分も元気になると思います。

イベント会場などでは、お客さんから演歌のリクエストをいただくこともあるので、ウクレレで演歌を演奏することもあり、曲に合わせて嬉しそうに歌ってくれる姿を見ると、いろいろな曲を練習し、もっと喜んでいただきたいと思えます。



取材を終えて

東京から上野原に越して来て、ウクレレを通じて友達ができたなど、知らない者同士が友達になり、人と人との繋がりで、次第にメンバーが増え、今では12人。

趣味を通して、祭りや福祉施設での演奏、また多くの人にウクレレを知っていただき楽しんでもらうと体験教室を開催するなど、とても素敵なみなさんでした。

新春のご挨拶

議長 山口 薫

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

市民の皆様には、日頃より市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

昨年は、世界各地での紛争や温暖化に伴う気候変動など、将来の安全な生活の確保について考えさせられた年でもありました。国内では、物価高騰等経済不安も市民生活に深刻な影響を与えています。市議会は、市民と身近に接する代表機関として、常に市民の皆さまの声に耳を傾け、ご意見を市政に反映するよう活動させていただいております。

昨年も議会活性化特別委員会を立ち上げ、市民との意見交換会を実施したほか、政策の立案、市議会基本条例の運用等について検討会を重ねると共に、各常任委員会や各会派は、当市に有効な先進地の視察を行いました。また、市議会業務継続計画（BCP）の改正や普通救命講習の受講、そして市議会の事務の効率化と合理化を図るため、タブレット端末を導入し、それに伴う議場の一部を改修させていただきました。

私たち議会は、当市における様々な課題解決に向け、時代や環境変化に迅速・的確に対応できるよう取り組んでいます。常に市民の皆さまが安心して豊かに暮らせるまち、持続可能なまちであり続けられるよう、その役割を果たしてまいります。今年も、皆さまの一層のお力添えを賜りたく宜しくお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして、本年がより良き一年になりますよう心からお祈りを申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

高校生が議会を傍聴

12月10日(火)の一般質問を、上野原高校の生徒6名が傍聴しました。生徒達は真剣なまなざしで議員と市当局のやり取りに聞き入っていました。

【傍聴の感想】

- ・市内のことだけでなく、地球温暖化対策や気候変動についてなど、地球規模での質疑があり驚いた。
- ・子育て支援の制度が整っているにも関わらず、子どもを産むことを考えていない人たちにその支援があることが届いていないという事実が印象深かった。
- ・上野原をより良くするために、質問に質問を重ね、踏み込んだ議論をしていて驚いた。
- ・話し合いの流れがスムーズで、1つ1つの質問に全て丁寧に答えていて関心した。市のために真剣に話し合ってくれていて嬉しかった。

【議会や行政に望むこと】

- ・バス代を安くして欲しい。
- ・学校の立地を駅の近くにしてもらいたい。
- ・ファストフード店を誘致して欲しい。
- ・ふれあい公園や河川敷は、幼稚園児から中学生まで遊べて良いと思うが、高校生の集まれる場所も作ってもらいたい。



令和6年第4回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案件名	天野淳一	佐藤澄男	清水一明	安留俊介	小俣崇	内田倫弘	八木一雄	山口薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	杉本公文	長田喜巳夫	審議結果
請願4	総務産業	「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」の日本政府への提出についての請願	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	●	○	○	採択
発議6	—	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	可決

※賛成・反対は、委員長報告に対する態度です。

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	結果
94	—	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度上野原市一般会計補正予算(第5号)）	可決
95	—	上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	
96	総務産業	地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	
97		上野原市税条例の一部を改正する条例制定について	
98	—	上野原市下水道条例の一部を改正する条例制定について	
99	文教厚生	上野原市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	
100		上野原市社会教育委員条例の一部を改正する条例制定について	
101		上野原市歴史文化展示室設置条例制定について	
102	—	令和6年度上野原市一般会計補正予算（第6号）	
103		令和6年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
104		令和6年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
105		令和6年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算（第2号）	
106		令和6年度上野原市下水道事業会計補正予算（第2号）	
107		令和6年度上野原市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	
108	総務産業	上野原市ふるさと長寿館の指定管理者の指定について	
109	文教厚生	損害賠償の額を定めることについて	
110		山梨県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	
111		山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	
112	—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
113	—	上野原市役所庁舎等改修工事請負契約締結について	可決
請願3	文教厚生	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について	採択
発議3	—	上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
発議4		簡易水道組合事業等支援対策についての政策提言書の提出について	
発議5		「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

12月定例会

定例会で決まった 主なこと

令和6年第4回定例会が11月27日から12月13日まで17日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	20件
請願	2件
発議	4件
計	26件

※議案名・議決結果等は5ページをご覧ください。

契約締結

市役所庁舎改修工事請負契約締結

上野原市役所庁舎の改修工事について、左記の相手と契約を締結することに決定しました。

株式会社 竹中工務店 東京本社

執行役員本店長 松岡 久史

議案第113号 上野原市役所庁舎等改修工事請負契約締結について

条例改正

文化ホール内に上野原市歴史文化 展示室を設置

歴史文化展示室の設置に伴い、施設の開室時間、閉室日、観覧料、企画スペースの使用料等の必要事項等を定めるものです。

施行日 令和7年4月1日

議案第101号 上野原市歴史文化展示室設置条例制定について

指定管理

指定管理者の指定

令和7年3月31日に指定期間が終わる施設の指定管理者の指定を行いました。

施設 上野原市ふるさと長寿館
指定管理者 未来プロジェクト会議 会長 山口 照義
指定期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日

議案第108号 上野原市ふるさと長寿館の指定管理者の指定について

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

令和7年6月30日をもって任期が満了を迎えるため、委員の候補者を推薦するに当たり全会一致で候補者を適任としました。

人権擁護委員候補者 田口 茂貴氏

議案第112号 人権擁護委員候補者の推薦について

定例会で決まった主なこと

議案第94号 令和6年度上野原市一般会計補正予算(第5号)
議案第102号 令和6年度上野原市一般会計補正予算(第4号)

正算 補予

給与改定・非課税世帯支援の予算

【補正総額(第5号)】

1千786万1千円

■総務費(選挙費)

1千786万1千円

【補正総額(第6号)】

3億4千620万6千円

■総務費

1千614万8千円

防災無線電波調査費

319万5千円

■民生費

1億3千214万8千円

難聴者補聴器購入助成及び国庫補助返還金

■衛生費

603万6千円

可燃ゴミ処理施設修繕費

6千483万円

■消防費

839万4千円

■消防指令自動車購入費

3千323万4千円

■消防指令自動車購入費

899万5千円

発議第4号

簡易水道組合事業等支援対策についての政策提言書の提出について

発議

簡易水道に関する提言書の提出

13の簡易水道組合、15の小規模水道組合、未加入水道組合においては、人口減少・高齢化等が進行する中、施設・制度維持が困難になってきていることから、その支援対策と良好な水道の基盤強化について政策提言を行いました。

請願第3号

「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について

請願第4号

「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」の日本政府への提出についての請願

請願

請願2件を採択

■請願第3号は、学校の長時間労働是正に資する政策を実行する必要があるため、国への意見書の提出を求めるものです。全会一致で採択されました。

■請願第4号は、上野原市男女共同参画推進条例の基本理念において、男女共同参画の推進が国際的協調の下に行われることを掲げているため、国へ女性差別撤廃条約選択議定書の批准を強く求めるものです。賛成多数で採択されました。

発議第5号

「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書

発議第6号

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

発議

意見書2件を国へ提出

■発議第5号は、採択された請願第3号の意見書を国へ提出することについて審議され、全会一致で可決されました。

■発議第6号は、採択された請願第4号の意見書を国へ提出することについて審議され、賛成多数で可決されました。

総務産業常任委員会

委員長 清水一明
副委員長 遠藤美智子
委員 天野淳一
安留俊介
内田倫弘
山口 薫
杉本公文

11月27日の本会議において付託された案件について、12月4日、委員7名出席のもと、委員会を開催しました。付託された案件は、条例制定2件、指定管理者の指定1件、請願1件です。審査は、関係課に説明を求め、その後、質疑・討論・採決を行いました。

議案第96号 地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定については、地方自治法と地方自治法施行令の一部改正により、現行条例で引用している規定の条番号が変更となったことに伴い関係条例を改正するものです。議案第97号 上野原市税条例の一部を改正する条例制定については、地方税法の一部改正に伴い、能登半島地震災害に係る雑損控除額等の特例の設定、固定資産税の非課税規定の適用、公益信託に関する法律の見直しによる所得税法の改正に伴う寄付金税額控除の適用範囲

に係る改正を行うものです。議案第108号 上野原市ふるさと長寿館の指定管理者の指定については、令和7年3月31日におけるさと長寿館の指定管理期間が終了するため、引き続き、未来プロジェクト会議を指定管理者に指定するものです。

以上、当局提出3案件について採決を行った結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

請願第4号「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」の日本政府への提出についての請願については、国会および政府に女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を強く求めるものです。

採決を行った結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。

また、委員から、DX推進について調査すべきとの意見があり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

文教厚生常任委員会

委員長 白鳥純雄
副委員長 佐藤澄男
委員 小俣 崇
八木一雄
川田好博
東山洋昭
長田喜巳夫

12月4日に委員会を開催し、付託された条例制定や請願等、8件について審査しました。

議案第98号は、下水道条例の排水設備工事責任技術者の規制を見直すもの、議案第99号は、条例の引用条項を改めるもの、議案第100号は、社会教育委員の委嘱に公募制を取り入れ、幅広い意見を聴取していくもの、議案第101号は、歴史文化展示室設置条例に必要事項を定めるもの、議案第109号は、損害賠償の額を定めるもの、議案第110号は、市町村事務組合が共同で実施している事務処理を、令和8年3月31日をもって廃止するもの、議案第111号は、共同処理する事務の変更に伴う財産処分について、市町村割合で按分するものです。

以上7案件を採決した結果、全会一致で可決しました。

請願第3号は、「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働

働是正を求める意見書採択の請願については、採決を行った結果全会一致で採択すべきものと決定しました。

また、所管事務調査として小中学校の教職員の働き方の実態について調査を行うこととし、閉会中の視察調査をすることに決定しました。



歴史文化展示室 完成イメージ

閉会中の委員会の活動

総務産業常任委員会

委員長 清水一明
副委員長 遠藤美智子
委員 天野淳一
安留俊介
内田倫弘
山口 薫
杉本公文

閉会中の継続調査として、「指定管理について」関連施設を現地調査した結果を報告します。

調査した施設は、いずれも秋山にある秋山マス釣場、緑と太陽の丘キャンプ場並びに、秋山温泉です。

各施設に対して、業者選定時の提案書に示された特色のある事業、利用者数、売上目標の達成率、さらに今後の取り組み策や市への要望等に関して、説明を求めました。

各施設とも新規顧客の獲得やマンネリ化に陥らない魅力あるイベントの創出などに工夫をこらしていることが説明されました。

また、利用者数、売上額の目標達成率は、それぞれ100%に満たない項目もありますが、SNSのさらなる活用や今後予定されている幅広い世代を対象とした特色ある事業、イベント等を開催し、集客の増加や売上の向上に努めていました。



緑と太陽の丘キャンプ場

今回視察した3施設について、担当課と指定管理者が連携し、問題点の共有や施設相互の連携、事業の費用対効果を見極めながらより良い運営を目指すとともに、担当課は定期的に指定管理者の運営状況のチェックを行うことを要望しました。

文教厚生常任委員会

委員長 白鳥純雄
副委員長 佐藤澄男
委員 小侯 崇
八木一雄
川田好博
東山洋昭
長田喜巳夫

11月5日に、「天然記念物の樹木の状況について」と「簡易水道組合事業等支援対策について」閉会中の継続調査を行いました。

始めに当市における天然記念物の樹木の状況について説明を受け、上野原の大ケヤキ、軍刀利神社のカツラ、一宮神社の社叢(しゃそう)を見学しました。

上野原の大ケヤキは昭和19年に国の天然記念物の指定を受けていて、推定樹齢は800年超、主幹部分は腐朽が進んでいるが、洞(うら)の部分から腕の太さ位の不定根が生えていて、将来の大ケヤキを支える根に育つよう保護しているそうです。

軍刀利神社のカツラは、昭和36年に県の天然記念物の指定を受けていて、推定樹齢は500年超、県内のカツラでは最大級とのこと。

一宮神社の社叢は、杉の巨木を含めたお宮の森全体が、昭和42年に、県の天然記念物の指定

を受け、西原の鎮守神として古来より崇敬を集めたとのこと。

続けて、簡易水道事業等支援対策について、今までの話し合いの内容を考慮した修正案が未だ来クラブから出され、提言を出すべきか委員会としての意見を話し合いました。協議の結果、文章の一部に修正を加えた上で提言書を提出することに決定しました。

今回の視察において、天然記念物の状況を、市民に広めていくための工夫をすることを担当課に要望しました。



上野原の大ケヤキ

各議員の主な質問項目

【清水 一明 議員】

放課後等デイサービスについて 他

【川田 好博 議員】

地球温暖化対策について 他

【八木 一雄 議員】

「第3期総合戦略：みらい戦略」策定に向けて 他

【東山 洋昭 議員】

多発する自然災害時の飲料水確保について 他

【内田 倫弘 議員】

上野原市の子育て支援について 他

【長田喜巳夫 議員】

第3期の総合戦略策定について 他

【安留 俊介 議員】

人口減少社会におけるまちづくり

【白鳥 純雄 議員】

住みやすい街づくりについて 他

【杉本 公文 議員】

上野原市総合戦略について 他

【遠藤美智子 議員】

若者世代が住みたくなる上野原について 他

【小俣 崇 議員】

小中学校の不登校について

放課後等デイサービスについて

質問 放課後等デイサービスとは

どのような施設か。

答弁 療育が必要と認められる小学生から18歳までの就学中の子供を対象とする障がい児通所支援です。

質問

向け、進めています。

答弁 市内にサービス事業所がないために親御さんに苦労をさせていると聞いている。市でも積極的な協力をお願いしたい。

答弁

令和4年11月までは、市内に1か所ありましたが、令和4年11月をもって閉鎖になりました。

質問

市内に放課後等デイサービスの事業所はあるか。

答弁

別の事業者からも事業の開始を希望していると話を聞いている。それぞれの事業開始に向けて、協力を行っていきます。

質問

放課後等デイサービスを実施する事業所が市内にない事について、どのように考えているか。

他に、市税・保険料・使用料の滞納について質問しました。

答弁

放課後等デイサービスの利用希望の声があります。また、市外の事業所を利用するなど負担をおかけしている状況もあり、障がい福祉サービスの提供が可能な事業者を公募したところ、放課後等デイサービス事業を併設した介護老人福祉施設の提案があり事業開始に



清水一明

地球温暖化対策は待ったなし
ゴミの分別の徹底を



川田好博

第2期総合戦略の総括と
第3期総合みらい戦略について



八木一雄

質問 産業革命後の気温は、過去10万年間で高温な時期よりも高くなっているが。

答弁 過去2000年間で経験のない気温の上昇が起きています。

質問 地球温暖化対策にとって必要なことは。

答弁 温室効果ガスの排出量削減が必須であり、再生可能エネルギーの普及、エネルギー消費量の抑制と省エネルギーが重要です。

質問 温暖化対策で(市の)「事務事業編」が作られたが、市全体の「区域施策編」の策定が必要ではないか。

答弁 今後検討を進めていきま

意見 来年度まで国庫補助の対象なので活用を。

質問 地域エネルギー需給データベースによると市内での再生可能エネルギー利用率は3・1%とされているが。

答弁 環境省の自治体排出量カル

テによると再生可能エネルギーの電力量は9・1%です。地域の特徴を踏まえた地産地消は今後の検討課題となると考えています。

質問 市の事業の中でクリーンセンターの温室効果ガスの排出量が65・3%となっているが。

答弁 その通りです。

質問 ある市では、燃えるごみの中に資源物が27・4%含まれ、生ごみも27・0%だった。この削減が必要では。

答弁 市の簡易分析の結果からも、紙・布類、プラスチック類、塵芥類(生ごみ)の削減が必要と考えます。

質問 最終年度を迎えた第2期総合戦略の暫定での総括は。

答弁 今年度の一般会計予算をベースに申しますと、第2期総合戦略事業の予算は約7億8千万円、主要事業の予算は27億8千万円を投入。結果として具体的施策13項目の内、達成は7事業、未達成は6事業です。特に重点目標に掲げた「特殊出生率1・2」と「20歳から30歳の若者人口3500人以上確保」は残念ながら達成が見込めない状況です。第2期総合戦略の検証・評価を総合的に行った上で、第3期の施策を検討する必要があります。

質問 第3期戦略策定に向け、「こどもまんなか社会」実現に向けた「こども・子育て政策」の位置づけは。

答弁 今年度、子ども基本法に基づき、すべての子どもの健全な育ちと子育て中の保

護者を支援する施策など、従来の支援事業計画を抱合し、行政と地域社会が一体となって子ども・子育て支援を推進するものとして上野原みらい戦略の子ども・子育て分野の個別計画として位置付けています。

質問 ②婚活支援事業への市の関わりと見直しは。

答弁 出会いから結婚への支援に於いて成婚件数の目標が達成されておらず、現状の事業内容などを見直し、これまで以上に市が積極的に関わり結婚相談所の充実や新婚世帯への経済的支援事業の創設など、第3期総合戦略で見直しを図ります。



生ごみ処理器「キエーロ」



多発する自然災害時の 飲料水確保について



東山洋昭

出産奨励祝金制度について



内田倫弘

質問 「能登半島地震」では関連死を含め尊い多くの命が失われました。救援物資の搬入も難しく、避難所開設も困難を極めたと聞いています。被災した時、市民の命を守るための飲料水確保について、市はどのような施策があるか。

答弁 各家庭にての備蓄を呼びかけるとともに、飲料水兼用の耐震性貯水槽からの給水を予定しています。また、生活環境課で実施した井戸水検査に合わせて、井戸所有者から災害時には、その提供について同意書を頂いています。さらに他市町村などの先進事例を参考に運用方法を検討し、早期に運用できるように努めていきます。

質問

を要請しています。

我が家でも深井戸があり、日常は電気でくみ上げ、飲料水や庭・畑の水やりにも利用しています。しかし大規模な地震等の自然災害が起こると停電が起こります。井戸水の利用についても停電になると、電気でもくみ上げることができない。使いたくても使えない。このような場合に、非常用の自家発電機の購入に一定の条件の下、補助制度の導入をしたらどうか。

答弁

持続可能な運用制度を検討し、補助制度の必要性を考えていきます。

質問

出産奨励祝金制度の現状と市の感想は。

答弁 制度としては出産時に一時金を支給することにより、出産後の子育て世帯に対する経済的支援の一助となっているものの、制度を開始した翌年度、平成22年度の出生数150人から令和5年度59人と減少し、子どもの人口減少には歯止めがかかっていないものと感じています。

質問

現在、検討中の代替事業は。出産に向けた通院費や宿泊費に対する補助制度を設けることを検討しています。

質問

村上市長の2期目に向かって掲げる子育て支援対策は。

答弁 現在検討中の出産時交通費及び宿泊費の補助制度を実現し、更に東部地域の周産期医療の状況を鑑み、妊産婦の負担軽減となる施策充実に向け出産奨励祝金事業の見直し時期に合わせて、妊娠中の妊婦健診に掛かる通院交通費に対し補助金を交付し、妊婦等に係る経済的負担軽減も必要な施策と位置づけ、安全・安心な子育て環境の整備に努めます。

質問 市民に対しての具体的要請量は。

答弁 1日一人3リットル。最低でも3日、できれば7日分



質問 今後のこの制度については。

答弁 行政改革推進委員会からもこの事業の見直しを行うべきとする答申もあげられており、今後は、この制度を廃止し他の事業へ見直しを検討しています。なお、廃止した場合でも、既に支給決定を行った第3子以降の出生に伴うお祝金の内、市内に在住し、小学生になられた際には、分割支給分の給付を考えています。



第3期の総合戦略策定について



長田喜巳夫

人口減少社会におけるまちづくり



安留俊介

質問

第2期総合戦略の検証は。

答弁

各事業の担当者とのヒアリングを通じ、達成、概ね達成、活動見込みを下回った、未実施に分類し、実績、成果を評価してきました。それらを踏まえ、各事業毎に、拡充、継続、縮減、休止・廃止、未定で判断し、3期の総合戦略の方向性を検討してきました。

質問

移動率、出生率を改善する具体的な施策は何か。

答弁

子育て・教育の循環、人・仕事の循環、暮らしの循環の基本戦略と広報・情報発信の強化などの推進、官民連携体制の構築など目標達成に向け、移動率、出生率を改善できるよう取り組んでいきます。

質問

本市の人口は、2040年には1万5213人と大きく減少し、年少人口は5・4%、生産年齢人口は43・7%、高齢人口は生産年齢人口を大きく上回る50・9%と推計されているが、市としてのどのように感じているか。

答弁

長期的に税収などの歳入減少が見込まれる一方で、社会保障費の増加や公共施設・インフラの老朽化への対応に伴う支出の増加といった行財政サービスへの影響など、影響は深刻であり強い危機感を感じています。

適正配置の検討は。

答弁

施設のお大半は老朽化が進んでおり、今後、長寿命化計画を策定し、改修を行う予定です。適正配置については、上野原高校と中学校による中高一貫教育の導入についての議論の方向性も踏まえていく必要があります。また、5年後には、児童数は512人、生徒数は341人となる推計で、その後も減少していく見込みであることから、今後、研究・検討の必要がある課題との認識を持っています。

質問

2030年の目標人口をパターン4とする根拠は。

意見

地域的な課題、当市の課題については、実施可能な方法を検討し取り組まない現状の変化は起きない。積極的な取り組みを求める。他に、地方創生、まちづくり委員会の設置等について質問しました。

答弁

人口減少にあることから2万人の維持は現実的に難しいこと、出生率が県下で最下位にあることから何らかの対策に取り組む必要があること、各年代の人が共に生き、市の循環を享受できる状態を目指すため、人口流出減や流入増の改善に取り組む必要があることからパターン4を選択し、令和12年の目標人口を1万9348人に設定して



意見

保護者をはじめ関係者の意向を踏まえながら、慎重に進めていただきたい。

質問

社会構造の変化や校舎の老朽化、児童生徒数の減少に対応した教育環境の整備が求められているが、学校の



住みやすい街づくりについて



白鳥純雄

市民への負担をできる限り求めない簡易水道事業等支援対策について伺う。

来年度出される調査結果を基に、実施可能な方策を検討し、速やかに方向性を定め、交付金の見直し等を行っていきます。

本来に必要な、救急患者の受け入れのために、24時間医師や看護師に相談できる#7119の活用が必要ではないのか伺う。

運営形態は24時間365日対応のため、小児救急電話相談#8000の提供時間外もカバーしており、県内医師、看護師が助言対応を行っている、上野原市民の相談件数は77件で、27市町村中22番目と低く、今後も広報やホームページでの周知と、周知方法や利用促進策を検討します。

消防団員を確保するための対策や処遇改善と、消防職員の改善をはかり、消防力の維持強化に向けた取り組みをお願いします。

意見

他に、スポーツへの取り組みについて質問しました。

他に、スポーツへの取り組みについて質問しました。

消防力強化に向け、ドローン等の導入活用に取り組み



上野原市総合戦略について
人口と出生率の環境向上策は



杉本公文

当市の令和2～6年の推計減少人口1761人、年平均352人に対し、今後5年間を計画年度とする第3期総合戦略の人口における素案では、令和12年の将来人口を1万9348人と推計し、1503人の減、年平均で303人の減少となる。この目標を達成するため出生率を現状の0.8程度を県平均の1.46を目標値としているが目標達成には思い切った施策が必要では。

市内には出産できる病院はなく、市長は、出産に係る費用は全額、市で負担すると公約し、市外への妊産婦の通院費用も助成する。と公言しているが、当初予算に計上するのか。

市内には出産できる病院はなく、市長は、出産に係る費用は全額、市で負担すると公約し、市外への妊産婦の通院費用も助成する。と公言しているが、当初予算に計上するのか。

市内には出産できる病院はなく、市長は、出産に係る費用は全額、市で負担すると公約し、市外への妊産婦の通院費用も助成する。と公言しているが、当初予算に計上するのか。

意見

市内には出産できる病院はなく、市長は、出産に係る費用は全額、市で負担すると公約し、市外への妊産婦の通院費用も助成する。と公言しているが、当初予算に計上するのか。

市内には出産できる病院はなく、市長は、出産に係る費用は全額、市で負担すると公約し、市外への妊産婦の通院費用も助成する。と公言しているが、当初予算に計上するのか。

市内には出産できる病院はなく、市長は、出産に係る費用は全額、市で負担すると公約し、市外への妊産婦の通院費用も助成する。と公言しているが、当初予算に計上するのか。

若者世代が住みたくなる
上野原について



遠藤美智子

質問

第2期総合戦略の取り組みと評価で、本市の人口減少の一番の要因は子育て世代の減少と評価している。第3期みらい戦略の策定にあたり「若者世代が上野原で結婚し子どもを出産し子育てをもらう環境の充実」ここに目を向けていくことが重要と考えるが。

答弁

をされている。今後の具体的な支援の取り組みは。

答弁

議員が言われるとおり重要なポイントと認識しています。本市の2030年の目標人口を1万9348人を目標すうえで、出生率を山梨県平均1・46を目標に取り組む必要があります。

意見

①市内に工場の立地を求めるとした支援措置を講じます。②結婚支援という意味合いを含めた住宅政策の確立を検討します。③39歳以下の方に対して「新婚生活応援事業」を、第3期みらい戦略に組み込み早期実施を検討しています。

質問

出生率を増やすには、若者世代の声を聞くことが必要。第3期みらい戦略の策定にあたり実施した市民アンケートでは、結婚するのに必要な支援として「働く場の創出支援」「住まいの支援」「結婚祝い金など経済的支援」の順で高い回答

他に、女性活躍推進について質問しました。



小中学校の不登校について



小俣 崇

質問

不登校の子供に対する支援の実施について。

答弁

当市では、市内中学校区ごとに配置されているスクールカウンセラーや、県富士東部教育事務所配置されているスクールソーシャルワーカーにお願いし、専門的な知見からの指導を受けながら、担任だけでなく、管理職、養護教諭と連携し、チーム学校として対応しています。

質問

不登校対策プランの取り組みと成果について。

答弁

上野原西小学校では、校内サポートルーム「にじいろ」を設置し、その他にも各学校において利用できるよう一人一台、端末を利用したオンライン学習の環境整備、教育支援センターの充実等を行っています。上野原中学校では、校内に相談室の設置と専門の支援員を配置し、日ごろから生徒

質問

のケアに当たっています。教育・医療の連携と居場所づくりについて。

答弁

児童生徒の個々のケースについては、子育て保健課内に設置している要保護児童地域協議会において、教育、子育て、学校と連携して情報を共有しています。その中で、必要に応じてドクターに入ってもらいながら医療面から見た対策などを聞いています。また、自分の教室に入りづらい児童生徒には、そのための居場所づくりとして、学校では、相談室や保健室、特別教室などを活用し、個別に教員が支援しています。



私のまち 上野原

市民の声



上野原中学校
小山 莉緒奈 さん

私は、上野原の魅力はなんといっても自然豊かなところだと思います。生まれてから今日までの15年間を上野原で過ごし、多くの自然と触れ合う中で、私たち人間は自然と共存して生きていることを学びました。多くの自然に囲まれている上野原で育ったからこそ得られた学びだと感じます。中学校では主に山梨県に目を向けた活動が行われていたので、中学校でも上野原市についてもっと深く学べたらと思いました。市民が自身の育ったまちにもっと親しみを持つことができたならとても素敵だと思います。

私はこの春、中学校を卒業し、高校生になります。高校生になると、今までよりも多くの人と関わるようになると思います。そういった中で、自分が生まれ育ったまち、上野原の魅力を堂々と伝えていきたいと思っています。

3 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26 本会議 (初日) 傍聴可	27 議案調査	28 委員会 総務産業 文教厚生	3/1
2	3 委員会 予算特別	4 議案調査	5 委員会 予算特別	6 議案調査	7 委員会 予算特別	8
9	10 議案調査	11 本会議 一般質問 傍聴可	12 議案調査	13 本会議 一般質問 傍聴可	14 本会議 一般質問 (予備日)	15
16	17 本会議 (最終日) 傍聴可	18	19	20 春分の日	21	22

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長へ申し出をお願いします。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

編集後記

議会だよりの取材等を通じ、市民の皆様のたくさんのご意見をお聞きする事が出来ました。

市議会では「議会活性化特別委員会」において、議会の効率化やそのあり方などを課題とし、引き続き改革を進めていきます。

今後もこの上野原をより良くするため、皆様の声に耳を傾け、地域の課題に積極的に取り組み、鋭意努力を続けていきたいと考えております。

また、議会だよりの、もっと多くの方に手に取っていただけるよう、工夫していければと思っております。
(清水)

YouTube
QRコードです



議会だよりの
QRコードです



議会だよりの編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 内田 倫弘 |
| 副委員長 | 小俣 崇 |
| 委員 | 天野 淳一 |
| 委員 | 佐藤 澄男 |
| 委員 | 清水 一明 |
| 委員 | 安留 俊介 |
| 委員 | 八木 一雄 |

